



いわみ

No.125

平成27年10月30日発行

議会だより



9月定例会

- 2 地域創生総合戦略
若者が集うまちをめざして新たな事業に着手
- 4 決算審査特別委員会での主な質疑・意見
- 6 一般質問 5 議員が町政^{ただ}を質す
- 12 岩美高校ブルー・マーティン・ジャズ・オーケストラの
みなさんからのメッセージ

「ラジオ体操・みんなの体操会」

10月11日(日)いわみふるさと音楽堂で
開催され、約400人が気持ちのよい汗
を流しました

若者が集うまちをめざして 新たな事業に着手



岩美町の将来について熱く語り合う「うみねこ舎」のみなさん

9月定例会を、9月15日から30日まで16日の会期で開きました。
一般会計補正予算など10議案（追加1議案）を町長提案とおり可決しました。
また、26年度決算議案は、決算審査特別委員会（芝岡みどり委員長ほか9委員）で審査し、認定しました。
審査の詳細は4ページ以下をご覧ください。

主な議案の概要・質疑・討論

一般会計補正予算

8139万円を増額し、
予算総額を65億6664
万円としました。

歳出の主なもの

地域創生関連事業費

9月に策定された地域
総合戦略に基づき、新た
な事業に取り組む。
移住者・地域おこし協
力隊員が立ち上げた「う
みねこ舎」の提案した事
業などを実施する。

地域創生チャレンジサポ ート推進事業費

1082万円

フォーラム開催費

17万円

空き家を活用して起業
し、町民や移住希望者の
交流の場をつくる若者に
改修費を助成。

600万円

シエアハウスを整備し、

地域活性化に取り組む移
住者に整備費を助成。

400万円

20代〜40代の方が主催
する同窓会に開催経費を
助成。

60万円

U・J・ターン推進事業費

576万円

移住相談員設置、いわ
みの魅力発信、移住定住
情報発信、移住相談会の
実施に係る経費。

広域観光連携事業費

304万円

広域グランドデザイン
策定、海幸山幸観光ルー
トの創出、観光アプリ開
発などの経費。

社会福祉総務費

25万円増額

町遺族連合会が、戦後
70周年事業として行う戦
争犠牲者の名簿などの整
理・発刊に補助する。

老人福祉費

1005万円増額

たきさん温泉の土地、
たんぼぼの家の土地、建
物を町が購入する経費。

沖合底びき網漁業生産体 制存続事業費

2000万円増額

海難事故により船体を
失った船主が操業を開始
するために必要な機器整
備、漁具購入の費用を助
成する。

瑞風受入推進事業費

103万円

29年春の運行予定の
「トワイライトエクスプ
レス瑞風」の東浜停車が
決定した。
これに伴う受け入れ準
備に係る経費。

マイナンバー制度の導入に伴い、手数料徴収条例と個人情報保護条例の一部を改正

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」（番号法）が、10月5日に施行されることに伴い、次のような改正を行う。

・手数料条例を一部改正し、個人番号カード再交付手数料（800円）、通知カード再交付手数料（500円）を定める。

・個人情報保護条例を一部改正し、特定個人情報の取り扱いを規定する。規定の主な内容は次のようなものである。

町が特定個人情報保有する場合、どこ部署が何のためにどう利用するのか、特定個人情報保護評価書を作成し、自己点検する。

取り扱う情報が30万人以上の場合などでは、評価書は第三者機関の評価

を受けなければならないが、町における第三者機関を、岩美町情報公開・個人情報保護審査会とする。

■ 質疑 ■

問 番号法でも規則でも、町が作成する「基礎項目評価書」を国に提出すると規定しているが、町の条例改正に規定がない。これは条例としては欠陥だと思う。

改正条例によれば、町情報公開・個人情報保護審査会の意見は聞かなくてもいいということになっている。条例の根拠となっている番号法に違反しているのではないか。

答 町としては、国から示されている資料に基づいて条例改正を行うという立場である。

■ 反対討論 ■

住民基本台帳の場合でも、情報流出と防止策がいたちごっこだ。

マイナンバー制度は住基台帳より情報は多く、

民間活用もある。制度の出発点できちんと押さえておくことが必要だ。

マイナンバーとは

国内の全住民に付けられる12桁の番号。

氏名・住所・生年月日はもとより、所得や行政サービスの受給状況などの個人情報が結び付けられる。今後、年金、医療保険や民間事業者の活用などに拡大されることが予想されている。

このマイナンバーを含む個人情報を「特定個人情報」という。

町の年末年始の休日を変更するため、休日を定める条例を改正

町の年末年始の休日を、12月31日から1月5日までとしているのを、県及び他自治体に合わせて、12月29日から1月3日までとする。

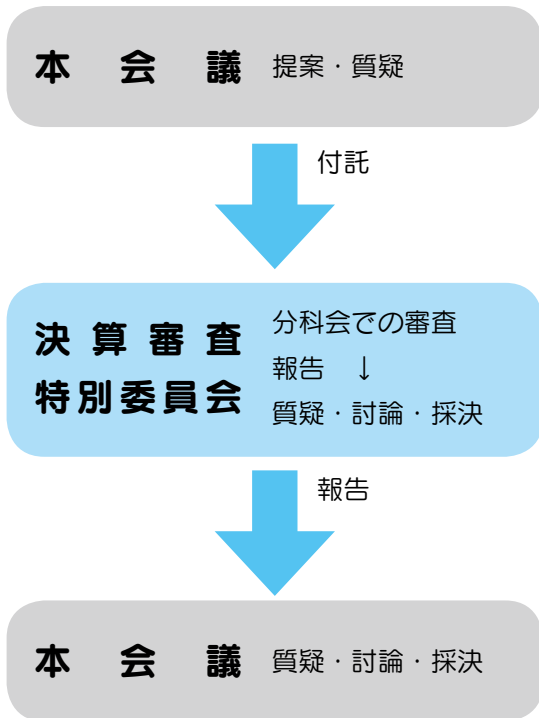
平成26年度会計別決算額

(万円未満切捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	68億2137万円	66億6476万円	1億5661万円
住宅新築等貸付特別会計	72万円	72万円	0円
代替バス運送事業特別会計	3280万円	3280万円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億3354万円	1億3321万円	33万円
国民健康保険特別会計	15億1901万円	14億3963万円	7938万円
集落排水処理事業特別会計	1億1570万円	1億1570万円	0円
公共下水道事業特別会計	4億4096万円	4億3788万円	308万円
介護保険特別会計	15億6738万円	15億4594万円	2144万円
訪問看護ステーション特別会計	5401万円	5401万円	0円
水道事業会計	3億6453万円	5億2211万円	※△1億5758万円
病院事業会計	22億2161万円	23億7685万円	※△1億5524万円

※赤字額は新会計制度移行の影響による。

決算審査の流れ



決算審査特別委員会での主な質疑・意見

一般会計

歳入

町税

問 25年度と比較し減収となっている。
要因は何か。

答 課税額の減、欠損金の増、徴収率の0・14ポイント減少により、減収となった。

鳥取県地方税滞納整理機構に参加し、引き続き徴収の向上に努める。

意見 重要な自主財源である町税の徴収については、さらに努力をするように。

歳出

問 わがまちづくり交付金申請が減っているが、審査方法とフォローアップはどうしているか。

答 年間2回募集し、審査は外部の審査員を招き、公開で行っている。
26年度は地域創生フオ

ラムを開催し、地域づくりの機運を盛り上げる機会とした。



地域創生町民集会（3月8日）

住宅用太陽光発電
問 導入促進補助について、実績を踏まえた今後の考え方はどうか。

答 国庫補助の廃止と買取価格の下落などにより、補助申請の件数が低迷した。

県の補助率が下がっているなど県の考え方も考慮しなければならぬが、引き続き再生エネルギーの普及に努めていく。

意見 国、県に対して補助の充実などの働きかけをするように。

支え愛ネットワーク構築事業

問 要援護者台帳の整備が具体的に進んでいる集落や地区の状況はどうか。

答 早期の取り組みが望ましいと説明しているが、地域によって事情がさまざま。

東地区の各集落、牧谷



地域で支え合う体制づくりの話し合い（田後）

止は減っている。どのように対応したか。

地区、駅前地区、田後地区、小田地区の一部集落、岩井地区の一部集落など名簿登録まで進んでいる地域、蒲生地区のようにつと以前から独自に台帳整備している地域、届出書が配布されていない地域など、温度差がある。

生活保護

問 25年度実績と比べると、新規申請が増え、廃

答 生活困窮に関する相談には丁寧に対応したが、障がい者世帯やその他世帯が増え、57世帯から60世帯に増えた。
27年度から始まった生活困窮者自立支援制度で、生活保護に至るまでの方の支援をしていく。

合併処理浄化槽設置整備事業

問 合併浄化槽組合の加入状況と、浄化槽検査の受検状況はどうか。

答 設置数592件のうち313件の加入で、50パーセント強の加入率である。

法定検査の受検率は約80パーセントだ。

未受検者には、町から指導通知を送っている。組合加入者は100パーセント受検している。未加入者の組合加入の促進に努め、適切な浄化槽の管理につなげる。

認定農業者

問 高齢化により減少しているが、担い手対策にどのような取り組みのかが

答 若い農業者や新規就農者に、認定農業者になってもらうようにするとともに、水稲以外の園芸作物も取り入れ、収益が増えるように指導する。

橋の長寿命化

問 通行が規制されている橋りょうの対応はどうか。

答 26年度に橋長15メートル未満の橋りょうも点検を行った結果、緊急に



新規就農者の川西さん



耐震金具を設置している住宅

代替バス運送事業特別会計

問 現在、町営バスは中型2台、小型2台を保有し、運行しているが、今後の維持管理経費も含めた運営方法の考え方はどうか。

答 今後の車両更新時には、乗車人員、ガソリン、軽油といった燃料、燃費などを考慮し、維持管理費をできるだけ圧縮できるようにする形態で、見直す。

病院事業会計

問 医師宿舎の必要性和今後の利用計画はどうか。

答 医師宿舎は現在5棟ある。

医師は充足しておらず、今後も医師確保に努めなければならない。

全国からの募集となり、県外からの応募者を対象とする場合、医師宿舎は必須である。

今後は、医療職全般の人材確保にも対応した利用を考えている。

国保特別会計

問 収入未済額の推移、積立基金の今後の見込みおよび保険者の広域化はどうか。

答 近年の未納者は160名前後で、1700万円前後で推移している。保険税の激変緩和などのためにも、一定の基金を持つ必要がある。保険者の広域化は30年度に広域化されることになったが、具体的な議論は進んでいない。

修繕を要する橋りょうがあり、27年度補修の設計をしている。

今後は、橋長を問わず緊急性の高い橋りょうから順次修繕を進めていく。

震災に強いまちづくり促進事業補助金

問 26年度の診断結果は、すべての住宅が、耐震性なしとなっている。

家全体の耐震工事は難

しくて、耐震ルームもある。成果が見えないのであれば、今後の対策は考えているか。

答 補助の上限が150万円であり実際の改修には、それを大きく上回る費用がかかるため、改修まで至っていない。簡易診断を含めて、耐震性のない住宅の危険性を、地道に啓発していく。

病院へ短時間就労を導入 せよ

杉村 宏議員

採用は安全第一を考慮 する

平井病院事業管理者



杉村 宏議員

杉村 岩美病院の看護職員が働きやすい職場環境づくりとして、短時間就労を考えているか。

病院事業管理者 看護師不足の課題があるが、募集時には本人の希望する勤務形態を十分に尊重し対応している。
医療の安全を第一に考え、採用に当たっていきいたい。

杉村 保育士も慢性的な人材不足ではないか。

町長 年度当初は保育の運営基準に適応した体制で出発している。



看護師との打ち合せ（岩美病院）

途中に、出産や病気で休む場合があるが、随時募集している。

杉村 結婚や出産で一度職場を離れると再就職しにくい。
短時間の就労を検討してはどうか。

町長 希望される勤務形態によって勤務が可能か判断していく。

地域創生で高齢者、女性に期待 することは何か

杉村 宏議員

培った技術や特性を活かした活躍に期待する

榎本町長

杉村 戦略策定にあたり、中学生以上の全町民対象のアンケートの実施を求めたが行われなかった。
戦略の成果を上げるため町民の主体的な参加をどのように働きかけるのか。

町長 これまでから、さまざまな機会を捉え意見を求めてきた。
参考にして戦略の策定をした。

杉村 戦略の中で、人口減少を見込んでいます。
町民の健康寿命も延びている。高齢者の方々にどのような活躍を期待しているのか。

町長 高齢者の方々、長年培ってきた技術や経験を生かし、地域の維持や生産活動に加わっていただきたい。

杉村 女性の方々に、どのような活躍を期待しているか。

町長 男女共同参画を進めることが第一だ。
女性の活躍を大いに期待している。

杉村 人口が自然に減少する要因に、未婚率の高さが指摘されている。
結婚率を増やすためにはどう考えるか。

町長 結婚対策についてはこれまでから取り組んできた。

このたびの戦略の具体的な施策として、30代・40代までも含めて同窓会を頻繁に行ってもらい、出会いの機会をつくりたい。

その他質問事項

道の駅きなんせ岩美の開業状況について

沖合い底びき網漁業生産体制維持について

畦畔のり面の崩壊対策の検討を

田中克美議員

県に対策を申し入れる

榎本町長



田中克美議員

県下同じ状況にあり、県に対策を検討するよう申し入れる。

マイナンバー運用延期は町民に不利益か

田中克美議員

今やっていることが続くということだ

榎本町長

田中 法はシステム改修前に、特定個人情報保護評価を行うことになっている。町の場合はどうか。

総務課長 システムより早くやるのが本来だが、法律がぎりぎりだったので、同時並行になった。

田中 個人情報の保護対策はどうか。

総務課長 個人のプライバシー保護を重点にシステム改修に取り組んでいる。

田中 特定個人情報評価書のチェックはどうか。

総務課長 個人情報保護条例を改正して保護規定を設けるが、町の場合は担当課の自主点検で保護措置は終わる。

田中 町の自主チェック体制は、大丈夫か。

総務課長 自主点検と個人情報漏えいしないシステム改修を行っており、対応できると考えている。

田中 日本年金機構の情報流出が発覚したが、町の場合の情報保全措置はどうか。

町長 ハード面では、町のシステムを、個人情報を取り扱う業務系と、インターネットに接続するシステムを分けている。ソフト面では、個人情報、番号が使われる基幹系ネットワークで利用することがないよう、職員の危機管理の徹底を図っている。

田中 町の監視システムはどうか。

町長 監視システムは、まだ示されていない。

田中 民間企業も対応することになるが、町内企業の実態はどうか。

町長 承知していない。

田中 情報漏えいを完全に防ぐことは不可能だ。情報は集積されるほど利用価値が高まり、攻撃される可能性がある。マイナンバー制度はリスクを極度に高める仕組みだ。

少なくとも運用延期すべきだと思うが、その場合、町民に不利益が生じるか。

町長 今やっていることを不利益というのはいかがかと思うが、今やっていることが続くということだ。

その他質問事項

憲法を守り実現すべき自治体の職員のありかたについて



のり面の草刈り作業（山ノ神）

町長 規制はなかなか難しい。除草剤にかわる対策と農業者の意識の持ち方が、対応策として必要だと思う。

田中 草刈は重労働であり、畦畔のり面の草刈にかわり除草剤を使うことがある。多量に使うと土壌崩壊の危険がある。規制や指導が必要だと思いがどうか。後継者不足のなかで、草刈にかわる雑草対策の検討が必要だ。

移住定住につながる魅力を発信せよ
芝岡みどり議員

子育てしやすい町を徹底的に発信する
榎本町長



芝岡みどり議員

今年度から地区・集落単位で、町も出かけ、登録してもらえぬ取り組みを進めている。
空き家の登録が非常に少ない状況で苦慮している。

今年度から地区・集落単位で、町も出かけ、登録してもらえぬ取り組みを進めている。

子育て支援の充実した、豊かな自然環境の中で、子育てすることを望む人が、多くなっている。

町長 15年から取り組んできて登録件数は33件、そのうち入居件数は26件、3件が交渉中だ。

さらに、町の魅力を発信することが、移住定住につながると思うが、どうか。

町長 働く場所と子育ての環境が優れ、子育てに對する理解や支援も行き届いているところを、情報発信して、移住者を増やしていきたい。

若者が政治に関心を持つよう取り組み
芝岡みどり議員

啓発活動に努力したい
寺西教育長

芝岡 改正公職選挙法により、投票可能年齢が18歳以上に引き下げられた。

若者が、政治に関心を持ち、投票に参加するために、*シティズンシップ教育を充実してはどうか。

芝岡 若者が政治に関心を持ち、参加していくのが大事だと思う。

若者サロンが、政治に関心を持てる場となるよう取り組みべきだと思う。

教育長 シティズンシップ教育と町のさまざまな教育活動は、主権者意識を持つ若者を育てるところは、同じだと思う。

これらの教育活動を、先生とともに、より充実し、展開していきたい。

芝岡 若者サロンの、これまでの活動と、これらの計画はどうか。

教育長 22年度から役場若手職員を中心として活動してきたが、現在は活動していない。

また、活動計画もない。

教育長 若者サロンではないが、成人式などで、実際の機材を使って模擬投票、開票を実施した。今後の啓発活動への取り組みには、協力し、努力していきたい。

シティズンシップ教育
目まぐるしく変化する現代社会において、子どもたちが将来、社会人として十分な役割を果たせるように教育すること。

芝岡 昨年度より移住定住を促進するため、おためし住宅を設置しているが、利用状況と成果はどうか。

町長 26年は5組、延べ利用期間が約4カ月、27年は6組、3カ月と一週間だ。

そのうち、牧谷と浦富に2組が移住された。

芝岡 町のホームページで、空き家活用情報システムを開くことができるが、移住定住につながる成果の推移と課題はどうか。



すくすく広場でおやつ作り

観光名所や文化財の看板の管理は十分か 寺垣智章議員

点検をしていきたい

榎本町長



寺垣智章議員

ついでには点検をしていきたい。

寺垣 文化財の保護と同じように、看板も管理していく必要がある。

汚れたり、色あせて見えにくくなってきているものもある。

定期的な点検や清掃は行っているか。

町長 観光看板は、町職員、観光協会事務局が行っている。

観光客が立ち止まって、看板を熱心に読んでいるのをよく見かける。過去に設置していたが、現在、看板がなくなっている場所はないか。

町長 観光案内、文化財の看板状況は、観光の部分だけで町が管理しているのが52基である。文化財関係の再設置に

寺垣 新しい道路の建設で、地図が変わったり、文化財の調査研究などによって、新しい発見があれば看板の見直しが必要になると思う。

町長 新しい看板設置については、最新の情報を捉えているが、既存のもの、点検なども不十分だと思っている。現実にはマッチした看板に、速やかに順次訂正していく作業も、必要になっている。



看板を眺めている「Free!」ファン（岩美駅前）

看板の更新、新設に町独自の工夫を凝らせ 寺垣智章議員

外国語の表記と統一的设计のジオパーク

榎本町長



ジオパーク統一デザイン看板

寺垣 地方創生総合戦略の説明で、観光ガイドアプリの共同開発があった。看板にスマートフォンをかざすと、動画を見ることがができる。

今後、看板の更新、新設を行う場合に、他とは違う町独自の工夫を凝らした、看板の設置を考えないか。

町長 観光ガイドアプリの共同開発を、東部1市4町と伯馬の西部2町で10か所程度設置予定である。

今後の看板整備では、外国語の表記をすること、ジオパークのデザインを統一的方向が出ている。

医師宿舎を移住定住対策に有効活用せよ 日出嶋香代子議員

目的外の貸与は考えていない 平井病院事業管理者



日出嶋香代子議員

猫が出入りしているとか、景観にも影響するということ懸念の声を聞くが、どのような管理をしているか。

病院事業管理者 定期的に見回り、建物の外観や室内に異常がないか確認、そして窓を開けての換気を行っている。

また、台風などの異常気象の前後には見回りを行う。

草刈りは年2、3回行っている。

日出嶋 官舎は医師確保、研修のために必要と聞いたが、研修は行われていない。

病院事業管理者 鳥取大学の研修協力病院、看護専門学校の実習受け入れ病院になっている。看護師、理学療法士など

ど研修時の宿舎とし、利用も検討したい。

日出嶋 医師に来ていただくために、医師宿舎は重要な条件か。

病院事業管理者 全国的に医師不足であり、病院自体が官舎を持たないのは遅れをとる。医師との確認のもと、官舎の所有を決めている。

日出嶋 空き家情報を住民に広く声掛けをしているが、医師宿舎を移住者や、おたけし住宅として活用してはどうか。

病院事業管理者 目的外の貸与は考えていない。

日出嶋 岩美病院職員貸与規程に、職員医師宿舎と職員宿舎があるが、現在使われているか。

病院事業管理者 職員宿舎総括のことを言っており、その中に医師宿舎がある。

日出嶋 現在、空き家になっている医師宿舎であるが、浦富地区4棟、岩井地区1棟と認識しているが、間違いないか。

病院事業管理者 岩美病院では5棟の官舎を所有している。



医師住宅2棟(町浦富)



医師住宅(駅前)



医師住宅(岩井)

27年第5回9月定例会提出議案の結果と議員の賛否の状況

提出者	審議結果	議案名	議 員 名													
			寺垣智章	杉村宏	宮本純一	川口耕司	田中伸吾	松井俊明	澤治樹	日出嶋寛代子	芝岡みどり	田中克美	柳正敏	船木祥一		
町長	可決	町の休日定める条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び職員の再任用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	マイナンバー制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	
町長	可決	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	可決	平成27年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	可決	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	可決	平成27年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	可決	平成27年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	可決	平成27年度病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度代替バス運送事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	認定	平成26年度水道事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	
町長	認定	平成26年度病院事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
町長	可決	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議員	可決	議会会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議員	可決	議会傍聴規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議員	否決	安全保障関連法の廃止を求める意見書	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	-		
議員	可決	ヘイトスピーチの禁止等に関する法の整備を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

○は賛成・×は反対・退は退席・欠は欠席 ※船木議長は本会議の採決に加わらない。

請 願 ・ 陳 情 審 査 結 果

件 名	結 果	賛否の状況	不採択理由
岩美町公金の郵便局における現金納付についての陳情書 提出者：鳥取県岩美郡岩美町浦富 1048-3 岩美町内郵便局代表者 岩美郵便局長 石破 憲司	採 択	全会一致	
NHK受信料の全世帯支払い義務化に反対する意見書の提出について(陳情) 提出者：鳥取県倉吉市新田 129 足羽 佑太	不 採 択	(賛成) 杉村 宏 田中克美	国は受信料の全世帯支払い義務化をしていない。
外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情 提出者：福岡県行橋市今井 3713-1 小坪慎也	趣旨採択	(反対) 田中克美	
人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定に関する陳情 提出者：在日本大韓国民団鳥取県地方本部 団長 薛 幸夫	採 択	全会一致 (意見書提出)	

岩美高校ブルー・マーティン・ジャズ・オーケストラのみなさんからのメッセージ



顧問／岩田 久志先生

岩美高校のジャズバンド Blue Martin Jazz Orchestra(ブルー・マーティン・ジャズ・オーケストラ)以下、B.M.J.O.)は、20

09年7月の結成以来、今夏7年目を迎えました。現在、1・2年生17名で活動しておりますが、岩美町出身者が8名在籍しており、過去にない地元色の強いメンバー構成となっております。部員全員がジャズ未経験で、岩美高校B.M.J.O.で初めてジャズに触れるのですが、演奏活動を続けていくうちに部員たちは大きく成長してくれています。

岩美高校B.M.J.O.の年間3大行事は、8月 ジャパン・スチューデント・ジャズ・フェスティバル(以下J.S.J.F(神戸市)「11月 鳥取まちなかJAZZ(鳥取市)「12月 定期演奏会(岩美町中央公民館)です。地元岩美町の支援のおかげで参加が可能になった神戸市で毎年開催されるJ.S.J.Fにおいて、昨年はメンバーの一人がナイスプレイヤー賞を受賞し、山陰地方唯一の出場校として現地でもすっかり定着した感があります。今年は残念ながら受賞はなりませんでしたが、次回は団体での特別賞を目指して日々精進しております。

現在、校内外での公演は年間30回近くになります。これまで活発に活動できるようになったのは、地元岩美町の皆様からの応援の賜物であります。皆様からの支援に対しまして、部員・顧問一同、この紙面をお借りして、深くお礼を申し上げます。



部長／保木本真希さん

今年の9月より第7代目の部長を務めることになりました。今年は4月に9名の新入部員を迎えて総勢22名となり、複数のバンドで活動する」という念願がかないました。現在、3年生中心のレギュラーバンド、1年生中心のジュニアバンド、OB中心のリターンズバンド、以上3つのバンドで活動をしています。

私はこの3つのバンドを顧問の先生、OBの方々と共に立派に育てあげ、鳥取県内はもちろん、全国の舞台でさらに活躍できるように努力していきたいと



ジャパン・スチューデント・ジャズ・フェスティバルにて(神戸市)

思います。目標はこの部を「岩美高校の中で一番輝く部」にすることです。最後に、日頃から私たちを応援してくださる地元岩美町の皆様にお礼を申し上げます。これからも応援よろしく願います。



元部長／日下 将さん

昨年(2018年)の9月から今年の8月末まで1年間、ジャズバンド結成から6代目の部長を務めさせていただきました。私は中学時代に吹奏楽を経験したことが無く、ジャズというジャンルも聞いたことしかありませんでした。そんな中、部長に就任した時は不安でいっぱいでした。

苦戦する中、楽しく演奏できる雰囲気作りを力を入れることに心がけました。結果、私の部長就任中に退部者を一人も出さなかったことは、歴代部長の中にあつて唯一誇れることであると思っています。卒業まで残り数ヶ月となりましたが、岩美町の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



OG顧問／岡村 阿弥さん

私が岩田先生からOG顧問の話をもらったのは高校三年生の冬でした。そのとき、自分にはバンドを引っ張っていく力があるのか? ジャズの楽しさを伝えられるのだろうか?等々さまざま疑問がありました。しかし、B.M.J.O.の仲間や顧問の先生、先輩方の後押しもあり、音楽の楽しさや仲間の大切さ、そして青色ユニフォームのジャズバンドを地元岩美町に引き継いでいくことを決心しました。

引き受けた以上は、このバンドをゼロから立ち上げられた諸先輩方の想いを受け継ぎ、推薦していただいた岩田先生や後輩たちを全力でサポートし、B.M.J.O.のさらなる進化を目指します。

最後になりますが、応援してください。ご家族や地域の皆様、今後ともよろしくお願いたします。

編集後記

「天高く馬肥ゆる秋」とはよく言ったものです。食欲の秋です。田んぼでは稲刈りも終わり、ほっと一息ついているころでしょうか。議会も10月には行政視察・議会たより・運動会・行事参加とあわただしく過ぎて行きます。皆様の元へ「議会だより」が届くころには、紅葉も美しくなるでしょう。秋の夜長を楽しんでください。

「ええかげんなら愚痴が出る。本気になったら、知恵が出る」(俗言)さあどつちかな。

議会だより調査特別委員会委員

議長	船木 祥一
副議長	柳 正敏
委員長	田中 克美
副委員長	芝岡みどり
委員	日出嶋香代子
委員	田中 伸吾
委員	川口 耕司
委員	宮本 純一
委員	杉村 宏
委員	寺垣 智章